

ひたか ふくしだより

第29号 平成30年9月 発行 日高学区市民自治会社会福祉委員会

8月30日～9月5日は防災週間



9月は、台風が多く発生して、集中豪雨などの風水害が心配です。過日行われました日高学区総合防災訓練では、家庭内での対策について、見守り対象の方に聞き取り調査を行いました。残念ながら約半数の方は、備えが不十分という結果となってしまいました。これを機に災害への備えを確認してはいかがでしょうか。

備えのヒント

食糧 … 水分、缶詰、乾パン、ビスケット、レトルト食品、インスタント食品
非常時に役立つ物 … 懐中電灯、ラジオ、カセットコンロ、毛布、マスク、ビニール袋
ラップ、軍手、ウェットティッシュ、使い捨てカイロ、防寒具
※地震対策として、家具やテレビなどの転倒防止も大切です。

日高学区市民自治会 会長 志賀勝弘さんの声

【酷暑の中で思う】

志賀 勝弘

挨拶の最初は「今日も暑いね」から始まる今年の夏の暑さは尋常ではない。そんな中、地域の皆様には「日高おんもさ祭り」をはじめ日高学区の諸行事にご協力をいただき感謝申し上げます。

動物の中で一番環境に順応できるのが人間であると何かの本で読みましたが、それは人間には知恵と工夫があるからだと思っています。でも今年の暑さには少し参りました。

今は、昔と違って冷房施設が整い、体調管理に必要な飲み物や食べ物、薬なども私たちの周りには豊富です。体調が悪くなればすぐ救急車が来てくれる生活環境で便利な世の中になっています。反面、知恵を出し工夫をして生活することを忘れてしまっているような気がします。もう少し知恵を出し工夫することを心がけたいものです。

宮沢賢治の「雨にも負けず風にも負けず」の生き方を、も一度思い起こし今年の夏の暑さを乗り切っていきたいと思っているこの頃です。

福祉に関するお問い合わせ相談は、日高学区市民自治会社会福祉委員会
交流センター内 電話 43-1250 神永 または 蛭田 まで
ふくしだよりに載せる地域の声も募集しています